

2019年3月10日(日)朝10:10～  
3月第2共同主日礼拝式説教

主の復活前第6、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：施しをするとき右手のことを 左手に知らせるな

聖書：マタイ 6章1～4節

<口語訳>

新約聖書7～8頁

マタイ 6章1～4節

<新共同訳>

新約聖書9頁

マタイ 6章1～4節

<新改訳第3版>

新約聖書7～8頁

マタイ 6章1～4節<塚本訳>

新約聖書80～頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き  
によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇ **マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇ **マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓あるいは説教と表現される箇所です。
- ◇ 本日は、**マタイ6章1～4節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)のユダヤ人の3大善行)を見たい、先ずは、「**施し**」で、「**右手のことを左手に知らせるな**」(6:3)に注目しました。
- ◇ **マタイ5:8**は、「**心の清い人たちの幸い**」を扱っている箇所です。  
⇒「**神の幸い・祝福**」、「**迫害の中の神信仰**」に続く「**天の父の心の目**」に「**神の御子イエス・キリスト様**」は、注目しておられるのです。  
⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「**偽善**」を見抜いておられます。

本論；

◇本日、**マタイ書6章1～4節**から主の**使信**に**思い・心**をとめます。

◆**マタイ6章1～4節**；使徒**マタイ**は、**神の御子 イエス・キリスト様**の「**右手のことを左手に知らせるな**」の**ことば**を語っています。

◇1～4節；塚本訳◆**施し**について

- 「1 (しかし戒めだけでなく、行ないにおいても聖書学者、パリサイ人以上でなければならない。すなわち)見せびらかすために、人の見ている前で善行をしないように気をつけよ。そうでないと、あなた達の天の父上の所で褒美をいただくことはできない。
- 2 だからあなたが施しをする時には、偽善者のように、自分の前にラッパを吹きならして(吹聴して)はならない。彼らは人に褒められようとして、礼拝堂や町の中でそうするのである。アーメン、わたしは言う、彼らは(褒められたとき、)すでに褒美をもらっている。
- 3 あなたは施しをするときに、右の手のすることを左に悟られてはならない。
- 4 これは施しを隠しておくためである。そうすれ

ば、隠れたことを見ておられるあなたの父上は、褒美をくださるであろう。」と、使徒マタイは語っています。

- ◇ 1～4節；「(しかし戒めだけでなく、行ないにおいても聖書学者、パリサイ人以上でなければならぬ。すなわち)見せびらかすために、人の見ている前で善行をしないように気をつけよ」、「そうでない」と、「あなた達の天の父上の所で褒美をいただくことはできない」、「だから」、「あなたが施しをする時には、偽善者のように、自分の前にラッパを吹きならして(吹聴して)はならない」、「彼らは人に褒められようとして、礼拝堂や町の中でそうするのである。アーメン、わたしは言う、彼らは(褒められたとき、)すでに褒美をもらっている」、「あなたは施しをするときに、右の手のすることを左に悟られてはならない」、「これは施しを隠しておくためである」、「そうすれば」、「隠れたことを見ておられるあなたの父上は、褒美をくださる」と、「施し」を通して、「御子イエス・キリスト様」は、「隠れた心のわざ」を求めておられる。

⇒「**善行**」は、「**義**」を表し、「**施し**」も、「**慈善**」の意味がありますので、「**神が認めてくださる**」ことという、「**義**」の意味では、同じです。

⇒併し、ユダヤ人たちを「**偽善者**」(俳優)のようだと、「**御子イエス・キリスト様**」は、語り、彼らの「**施し**」が、人前で見せる行為があつて、「**善行**」が、「**神が認めてくださる内容**」すなわち、「**神の義**」を示すものになっていないということでした。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、「**施し・善行**」の動機を問題にされたと、**OA師**は仰せで、ユダヤ人の「**施し・善行**」が、現れているか、隠れているかが第一のことではありません。

⇒「**あなたは施しをするときに、右の手のすることを左に悟られてはならない**」も、自然なら、不可能なことで、「**自分がした施しを忘れ、義を意識しないようであれ**、つまり、それくらい『人など相手にしていない』義を、神だけを仰いでやってみよという挑戦と捉えるべきでしょう」と、**OA師**は語られる。

⇒焦点を絞って、人の目色を見ず、神を相手の人生を生きよ、とういことなのです。

## 結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓**あるいは**説教**と表現される箇所です。
- ◇本日は、**マタイ6章1～4節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)のユダヤ人の3大善行)を見たい、先ずは、「**施し**」で、「**右手のことを左手に知らせるな**」(6:3)に注目しました。
- ◇**マタイ5:8**は、「**心の清い人たちの幸い**」を扱っている箇所です。
- ⇒「**神の幸い・祝福**」、「**迫害の中の神信仰**」に続く「**天の父の心の目**」に「**神の御子イエス・キリスト様**」は、注目しておられるのです。
- ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「**偽善**」を見抜いておられます。

⇒「**神の御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人が**3大善行の1つ**という「**施し**」について、彼らの「**偽善**」を見抜き、「**施し・善行**」が、「**神が認めてくださる**」ものであるように語りかけ、真実の「**善行・神の義**」は、「**これは施しを隠しておくためである**」、「**隠れたことを見ておられるあなたの父上は、褒美をくださる**」のことばによって、隠れているか、現れているかよりも、「**施しの動機**」が問われているのです。

⇒「**あなたは施しをするときに、右の手のすることを左に悟られてはならない**」と言われ、「**これは施しを隠しておくためである**」と理由を述べられ、一見、自然の行為を無視するようなことばを語りつつ、「**自分がした施しを忘れ、義を意識しないようであれ、つまり、それくらい『人など相手にしていない』義を、神だけを仰いでやってみよ**という挑戦と捉えるべきでしょう」と、**OA師**は語られる通り、心をされた。

